

2015年(平成27年)10月29日(木) NO 91号

K-PURO NEWS

【事業所】

◆	社名	株式会社 ケイプロ	http://www.k-puro.co.jp
◆	商号	都市防犯プランニング社	mail info@k-puro.co.jp
◆	本社	埼玉県蕨市中央 1-7-1 シティタワー蕨	TEL 048-446-9445
◆	千葉支店	千葉県千葉市中央区新町 1-20 江澤ビル	TEL 043-243-6110

【業務内容】



機械警備事業	弊社独自のセキュリティプランニングに SECOM・ALSOK・CSP のインフラを使用
防犯カメラ事業	周辺環境・建物構造・人的要因・犯罪データを分析し有効かつ適正な位置へ設置
メンテナンス事業	消防設備点検・工事から AED 幹旋に至るまでのメンテナンス業務の取扱い

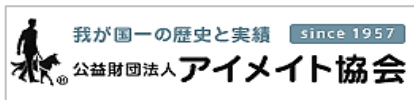


【加盟団体】



RID2770	川口モーニングロータリークラブ	http://www.h3.dion.ne.jp/~mrc/
NPO 法人	さいたま起業家協議会	http://www.saitama-kk.org/
公益社団法人	千葉東法人会	http://www.chibahojin.jp/
一般社団法人	千葉市中央区倫理法人会	http://www.rinri-chiba.org/
公益財団法人	モラロジー研究所	http://www.moralogy.jp/

【応援団体・企業】



ごあいさつ



横浜で発生した杭打ちデータ改ざんによるマンション傾斜問題。
まさかこんな事が日本国内で起こるとは。ちょっと信じられない事案です。
先日、その道 40 年のベテランの職人さんと酒を酌み交わしました。
以前から『自分の仕事に誇りを持ってやっている。腕が良いから会社が辞めさせてくれない。』と言っていたので、プロの職人としての話を楽しみにしていました。
しかし、実際に返ってきた言葉は、『建設業界の人間は、現場に入って、いかに手を抜くかを考える。』という内容でした。
施主やお客様に喜んでもらうために自分の持てる技術を最大限発揮する努力は惜しまない、という話を期待していただけにとってもガッカリしました。
こういう方は自分のことをプロとってはいいけません。ただの労働者です。
何のために仕事をしているのか、お金を頂いているのか、もっともっと自分の仕事に誇りを持ち真剣に取り組みたいものです。
代表取締役 木戸 良樹

今月の良い話

「プロの流儀」



——どのような治療をされているのでしょうか。
初診の患者さんのほぼ全員が何かしら歯の痛みや不具合を感じて、足を運ばれます。
歯医者には痛くなったら行く、というのが一般的な感覚でしょう。
当然、患者さんは早く完治させてほしいと思っているはず
です。

ただ、私は痛みを緩和するための治療は行いますけど、すぐに本格的な治療に入ることはほとんどないんです。

——といいますと？

歯科医療というのは、いまその時だけ痛みを取り除けばいいとか、食べられればいいのではありません。口腔疾患のリスクを管理することは全身疾患のリスクを管理することへも繋がりが、人々の全身健康へ寄与します。そして、自分の歯で食べ、不自由なく生活ができ、自然の美しさを維持する。それが何よりの目的です。

自分の口の中に何本詰め物があるのか、それはいつ、どこの歯医者で詰めたのか。

それすらも分からないという患者さんが多い。

歯科医にすべてお任せの診療が行われていて、情報が閉ざされてしまっているんです。

患者さん自身が自分の歯の状態を知り、考えること。その意識を芽生えさせないことには、根本的な治療には至らないんですね。



——口腔の健康に対する患者さんの意識をまず変えていくと。
ただ、特に開業して間もない頃は、患者さんにそういうことを言っても受け入れてもらえなかったり、中には罵倒されたりしたこともありました。
痛いところをいまずぐ治してもらったらい、忙しくてメンテナンスになんか行っている時間はないと。
初診で見えて以降、ぱったり患者さんが来なくなってしまいましたね。
赤字経営になり、自分の貯金を切り崩してスタッフの給料を支払って

ました。いま思い出しても、本当にあの時期は苦しかったです。

そこで患者さんの要求を呑んだほうが楽だったと思いますけど、それは絶対にしなかった。

——熊谷先生をそこまでして突き動かすものは何ですか。

やっぱりそれは歯科医としての責任感、使命感です。

収入が減ろうが、患者さんから罵倒されようが、患者さんの口腔の健康を守ることがライセンスを預かっている者の果たすべき責任、使命ですよ。

困難な道から逃げず、自分の信念を曲げずに、王道を進んでいくことが大事だと思います。

夢を叶えるために敢えて困難な道を選択し、先入観や既成概念を捨てて、情熱を傾け創意工夫をしながら、ブレずに目的を達成しようと努力し続ける人。

それがプロの姿ではないでしょうか。

熊谷 崇氏（日吉歯科診療所理事長）

山形県酒田市日吉町

記事提供 到知出版社

今月の良い話 「高い山を乗り越えて初めて事は成る」



——大村さんの開発された薬によって世界で2億5,000万人の人が病気から救われているそうですね。

それは「イベルメクチン」といって、もともとはメルク社(米)と共同で家畜やペットの寄生虫病の特効薬として開発して、世界中で使われているものです。それが人間の病気にも使えることが分かり、WHOが注目したのです。

例えば疥癬(かいせん)といって老人ホームなどに多い皮膚病がありましてね。患者さんからすぐ看護師さんにも染してなかなか治らないんですが、この薬を一回飲むだけでピタッと治るんです。皮膚科領域の革命だといわれています。

この薬によって、熱帯地方によくあるオンコセルカ症という目が見えなくなる病気や、リンパ系フィラリア症という脚が象みみたいに太くなる病気がほとんど感染しなくなって、WHOも2020年には撲滅できると発表しました。

——大変なご努力の賜物でしょう。

研究そのものはそんなに難しくはないのですが、何を考えて取り組むかということが大事です。

そういう意味で僕は、人があまり考えないことで世の中の役に立つのが自分の使命だと思い、人がやっていないようなことに絶えず挑戦してきました。

このイベルメクチンも、我われが発見した世界で唯一の微生物がつくる化合物から開発した薬です。これ以外にも創薬に結びつく化合物を含む新たな460種類の化合物を発見するなど、世界で最初手掛けた研究が多数あります。

とにかく僕が携わっている化学や微生物の分野では、創造性が大事で人真似は絶対にダメ。

もちろん学問ですから先人の業績を勉強することは大事です。

だけどそこから一歩先んじようという気概がなければなりません。若い研究者にもいつも言うんです。新しいことをやりなさい、そうすると人を超えられるんだよと。

人真似ではどんなによくてもその真似をした人のレベル止まりです。

失敗を恐れず、新しいこと、人がやらないことに挑戦してこそ人を超えるチャンスを掴めるんです。

何かを成そうという時には、ネックになることがいろいろあるものです。

だからダメではなく、高い山を乗り越えて初めて物事は成せるんです。

お金がなければいかにお金を集めてくるか、人がいなければいかにお育て、活用するか。

与えられた場で自分の役割を果たすことは大事です。

しかしただその場に甘んじているのではなく、そこを乗り越えて、自分でなければできないところを見せなければいけないと思います。そういう気概で歩んできた結果、化学者としては一流でも二流でもない僕が、一流の化学者以上の実績を積み上げることができました。

先年、102歳で大往生された松原泰道ご老師に僕は大変懇意にさせていただいていました。

そのご老師からいただいた「生ききる」という色紙が自宅の仏間に飾ってあります。

僕はこれからいよいよこの「生ききる」を実践していきたい。

後進を育て、独自の新薬の開発を通じて社会に貢献していきたいですね。

////////////////////////////////////

大村 智氏 (北里研究所名誉理事長)

2012年5月記事

ノーベル生理学・医学賞受賞

記事提供 到知出版社

事件ファイル NO91 防犯カメラ画像解析



犯人検挙に多大な貢献をしている防犯カメラ。
近年の犯罪認知件数の減少と検挙率の向上は防犯カメラが寄与しているのは周知の通りです。
弊社でも警察からの要請で再生立会いを行うことは少なくありません。
最近の防犯カメラは 200 万画素が主流となり、映像がかなり綺麗になりました。
数年前までは 38 万画素が主流でしたので約 5 倍の解像度になっています。
しかしながら、まだ 7 割程(弊社の場合)が 38 万画素のカメラが設置されており、画像鮮明化の技術向上はしばらく求められ続けるでしょう。
オリンピックに向け、防犯カメラの需要は今後ますます増えることでしょう。(ご依頼はケイプロへ)

プロ太の小話集 NO91 『反芻』

講演が聴衆から反感を買い、不機嫌に演壇から降りてきた議員先生。

秘書に向かって怒鳴った。

「20 分の原稿を書けて言ってあったら 40 分もかかったぞ！このバカモノ！」

「先生、申し訳ありません…。念のためコピーを付けておいたんですが…」

「……。」



//////////
今月の K-PURO ニュースいかがでしたか？

冒頭挨拶の続きになりますが、杭打ちデータ改ざんの根本原因は会社の体質にあると思わざるを得ません。現場任せの体質がいい加減な施工を常定化し、無責任体質を生み出しています。

今回の事例により、この企業はきっと社内チェック体制を強化する手法を取り入れるでしょう。

しかしながら、これは書類上のことだけであり、ISO の二の舞いになる観は否めません。

一番重要なのは、いい加減なことをするとお天道様が見ているとか、個々の道徳心に訴える教育をいかに植え付けていくか、ということだと思えます。

道徳心がいかに重要かを理解するか、させるかが、企業存続の重要な分かれ道になると考えます。

注:プロ太とは、写真のK-PURO番犬です。(体長 10 メートル・体重 1 トン・無敵無敗)